



自然の恵みを豊かな明日へ



安全は未来への架け橋

一般社団法人

長崎県採石協会

～砕石業界を取り巻く現状と取り組みに関して～

私たちの身の周りにおいて、様々な場所で利用される「砕石」。
「砕石」は、社会資本整備において必要不可欠な材料のひとつです。

自然由来の材料

「砕石」は自然由来の材料であるため、どのような場所で利用されても環境に悪影響を与えない、環境にやさしい材料です。

また、災害が発生した際、1次的な応急対応においても、2次的な恒久対策においても柔軟に対応可能な材料です。

そのため、「砕石」は様々な場面や場所で利用・活用されています。

様々な場所で利用される砕石

コンクリート橋梁

コンクリート製造の材料の
50%以上は「砕石」です。



アスファルト舗装

アスファルト舗装材料の
50%以上は「砕石」です。



護岸整備

「砕石」は自然由来のため、河川や池にも安心して利用でき、
自然と共生する護岸整備に使用されています。



社会資本整備に不可欠な資材である「碎石」。その不可欠な資材を安定してお届けするために、実は碎石の生産以外でも様々な取り組みを行っています。

採石跡地緑化

碎石の採取後は、元の山林に戻すための「緑化」を行う必要があります。碎石の採取が終わった箇所から順次跡地を成形し植樹を行うことで環境への配慮を行っております。



跡地成形前



跡地成形後、植樹実施
(5年後)



順調な樹木の生育
(10年後)



周辺環境対策

碎石場周辺の環境対策にも力を入れています。碎石場内より粉じんや土砂の流出が起らないように配慮しております。



タイヤ洗浄



自社清掃車による
一般道清掃



汚濁水を排出しない
為沈殿池の維持管理



散水車による粉じん
防止対策

安全対策

碎石業は労災保険料率が全産業で4番目に高い非常に危険度のある職種です。碎石の安定供給の為には人材も安定して確保する必要があります。そのためにも工場内の安全対策への投資は欠かせません。毎年、許認可行政（長崎県）および各市町村の担当者と共に巡回安全パトロールや、安全大会・各種講習会の開催等、ソフト・ハード両面から安全への取り組みを行っております。

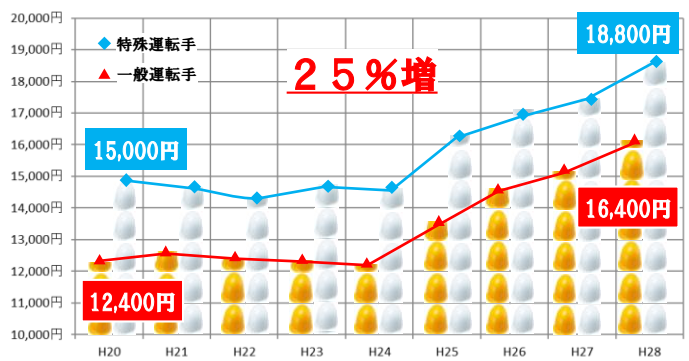


砕石業を取り巻く環境は非常に厳しくなっております。各種コストは右肩上がりで上昇し、砕石の安定供給に支障をきたすほどにまでなっております。

労務単価の上昇と人材の確保難

2011年の震災以降労務単価が上がり続けており、各社の経営を圧迫する一因となっております。

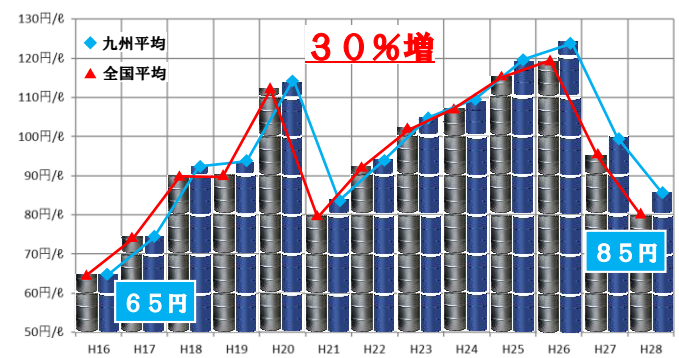
若い人材の確保を図るも、業務が決して楽ではない砕石業は敬遠されがちになり、人材の確保も難しくなっております。



資料出処：資源エネルギー庁 統計資料

燃料単価の上昇

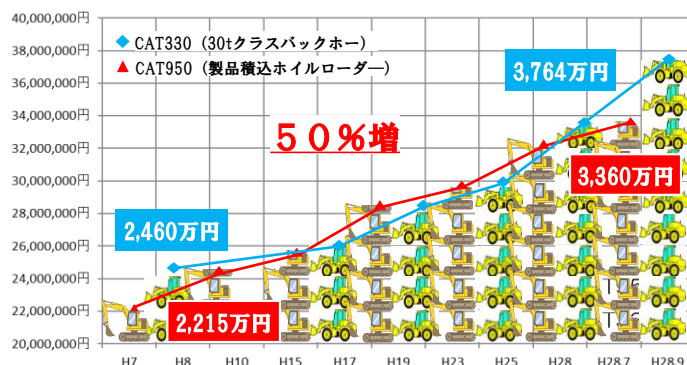
近年、燃料価格の上昇が落ち着いたといわれておりますが、長期的にみた場合3割以上も上昇しており、製造コストアップの要因となっております。



資料出処：石油資源開発株式会社提供資料

重機価格の上昇

行政による排ガス規制基準の厳格化にともない、排ガス規制に対応した重機の価格が年々上昇しております。砕石業では重機の入替えが定期的に必要なため、非常に重い負担となっております。

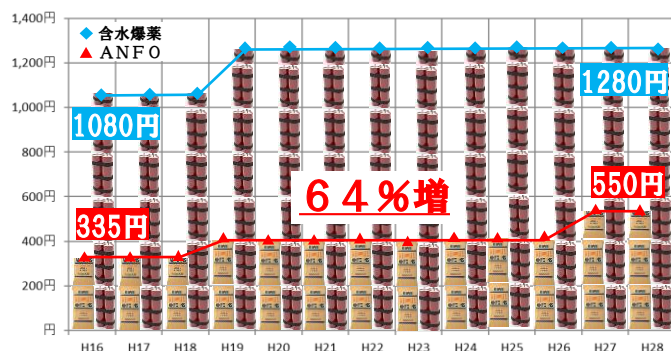


資料出処：キャタピラー九州株提供資料

火薬単価の上昇

原油価格の上昇に引きずられ、火薬単価も上昇しております。

火薬は砕石生産には必要不可欠なため、単価の上昇は利益を圧迫しております。



出典：石油資源開発株式会社提供資料

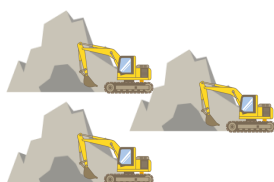
砕石業者の減少

厳しい経営状況のため、事業承継することなく廃業を選択する砕石業者が多く、約40年で長崎県採石協会の会員数は3分の1にまで減少いたしました。

昭和58年

平成10年

平成27年



83社



51社



27社

40年で3分の1に！

砕石業者減少の要因

採算悪化

資源枯渇

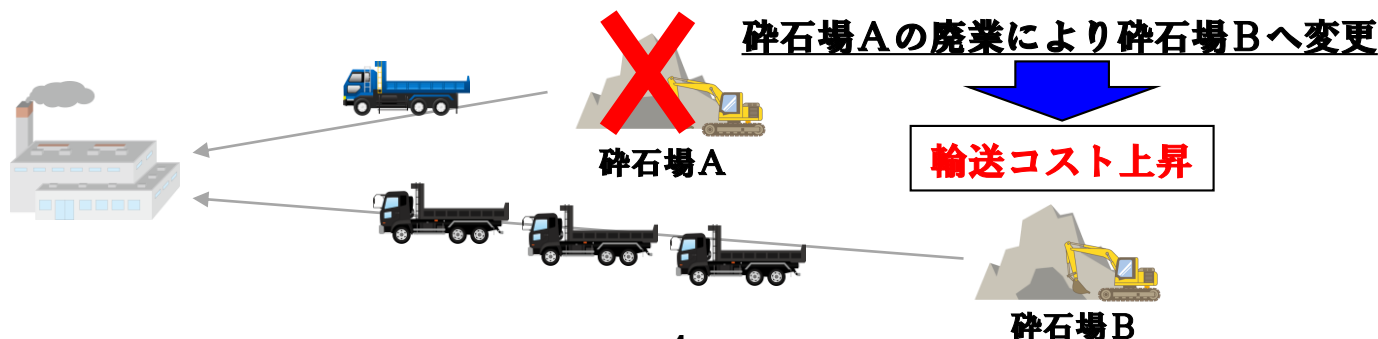
後継者不在

地元との不調

輸送コストの増大

大型ダンプトラック自体の値上げ、トラック運転手の不足、消耗品の値上げにより、大型ダンプトラックのチャーター費用は増大しております。

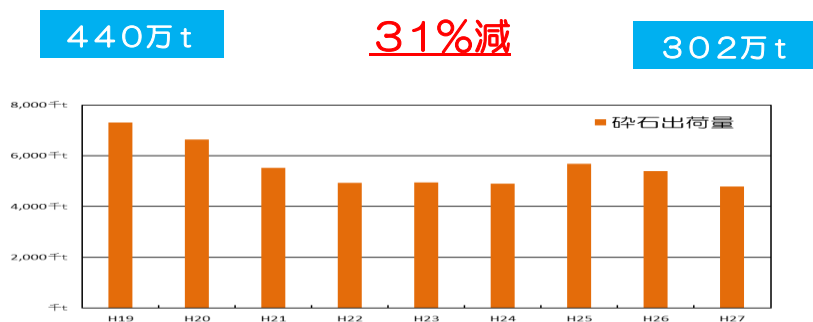
また、上記の砕石業者数の減少は、各砕石場から砕石使用場所までの輸送距離の増大に繋がり、現着単価に占める輸送コストは増大しております。



各種コストが上昇するなか、砕石出荷量は大幅に減少しています。大量の生産・出荷に頼った安価な砕石供給のビジネスモデルは成り立たなくなっています。

砕石出荷量の減少

各種コストが増加するなか、リサイクル材の積極利用、公共工事費の削減等により、福岡県における砕石の出荷量はこの数年で138万t以上減少しています。



資料出処：経済産業省 統計資料

砕石の安定供給

砕石業は、新規に開始することが非常に難しい業種です。

地域の理解

行政の許認可

多額の初期投資

森林の保全

今後も厳しい経営状況が続けば砕石業者はさらに減少し、**砕石の安定供給が難しくなる**可能性もあります。

その場合、遠方より砕石を運搬せざるを得ませんが、その場合輸送コストが増大し、砕石単価も現状よりよりいっそう高くなります。

また、遠方より砕石を運搬することで**CO₂排出量の増大**という問題も発生します。

以上のことから、、、

砕石業が社会資本整備や環境問題に貢献できる産業であり続けるため、砕石の適正価格を考慮頂き、砕石単価の見直し、並びに適正な輸送単価の計上にご理解くださいますようお願い申し上げます。

一般社団法人 **長崎県採石協会**

所在地

〒850-0034

長崎市樺島町 9-19 (山田ビル2F)

TEL095-893-6247 FAX095-893-6248

